

Medical Valley Project

みえメディカルバレー構想

第2期実施計画

三重県内の大学や研究機関、企業、サービス事業者などによる有機的なネットワーク(産業クラスター)を形成し、競争力のある産業構造への転換を促すとともに、新事業やベンチャー企業を連鎖的に生み出し、さらには新たな産業集積を図るものです。



Medical
医療



Health
健康



Welfare
福祉



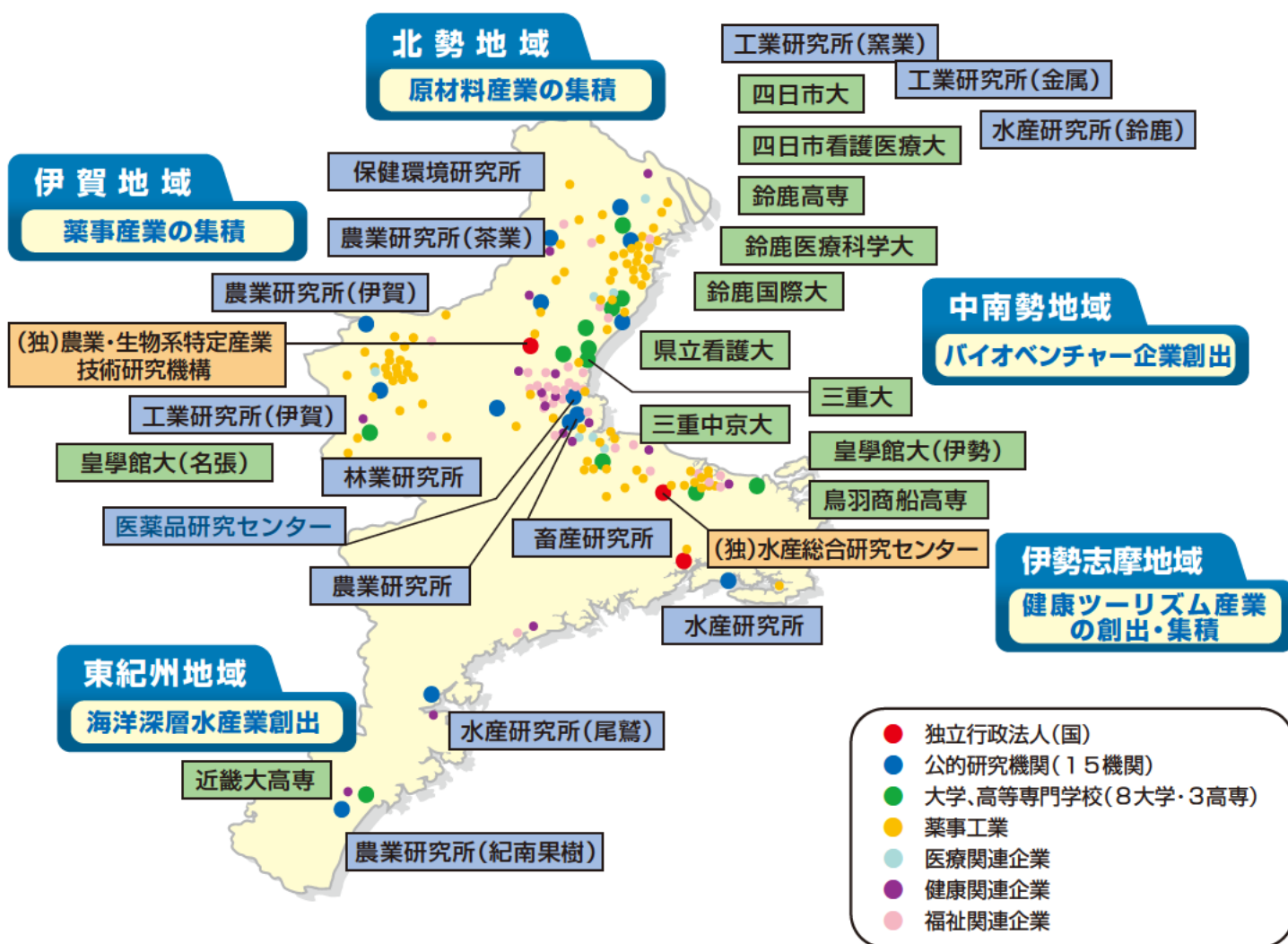
三重県では、次代を担うリーディング産業の創出に向けて医療・健康・福祉分野の産業振興を進め、活力ある地域づくりと県民の健康と福祉の向上をめざして2002年2月に産学官が協働で、メディカルバレー構想を策定し、同年4月から事業を展開しています。

メディカルバレー構想の基本理念

地域資源を有効に活用し、利用者と生産者のコラボレーションにより、消費者ニーズに対応した質の高い製品・サービスを提供する、競争力のある医療・健康・福祉産業の振興（メディカルバレー構想）に取り組み、活力ある地域づくりと県民の健康と福祉の向上をめざす。

メディカルバレーは産学官民連携の構築により、人的ネットワークを広げ、中小企業のポテンシャルを高めてイノベーションを生み出す取り組みです。

医療・健康・福祉産業クラスター 〈メディカルバレー〉



メディカルバレー構想の方向性

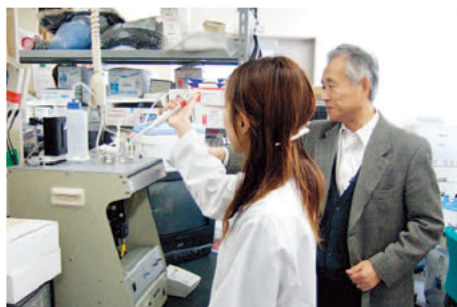
第1期実施計画(立ち上げ期) 平成14～19年度 メディカルバレー基盤の構築

メディカルバレー構想成功のための3つの要素

- 1. 医療・健康・福祉産業クラスターの形成**
医療・健康・福祉に関連する多様な産業クラスターを多数形成していきます。なかでも、薬事産業、健康食品産業、福祉用具産業に関するクラスターの形成に取り組みます。
- 2. 医療・福祉サービスの高度化**
福祉分野への民間活力の導入、IT化による情報開示などにより医療・福祉サービスの高度化と効率化に取り組みます。
- 3. 消費者ニーズの反映**
県民に対する適切な情報提供、事業者と消費者との交流、連携により、より厳しい消費者としての意識を高めるとともに、ニーズに適切した製品、サービスの供給能力を高めます。

第1期実施計画の8つの基本方向

1. 産学官民連携の促進
2. 研究開発・技術開発の促進
3. 創業・新事業創出の支援
4. 企業誘致戦略の推進
5. 医療・健康・福祉サービス分野の高度化と効率化
6. 情報提供の充実
7. 推進体制の整備
8. 人材の確保・育成



◆ 第1期の成果と課題

成果

- 1. 産学官民連携体制の構築**
関連企業、大学、県・市町の連携体制、人的ネットワークを構築。協働での事業実施、個々の事業展開に大きな推進力となり、民レベルへも波及。
- 2. 治験ネットワークの構築**
県内の主要な病院、医療機関で構成されるネットワークを構築し、NPO法人が管理・運営。全国でも数少ない成功例。
- 3. 創業、研究開発等の進展**
薬事産業分野への第2創業の増加、健康・福祉産業分野での販路開拓促進、共同研究による多くの製品化、特許出願。
- 4. 知的拠点の整備**
鈴鹿医療科学大学が県内初の薬学部を開設。伊賀市に三重大学伊賀研究拠点を設置(平成20年度末オープン予定)。
- 5. 高い外部評価**
日経BP社実施の全国バイオクラスターランキングで全国32拠点中4位(2006年)。

課題

- 1. 自立体制の確立**
県主導の事業形態から各主体が自立し、役割分担をすることが望まれます。
- 2. 民の参加・活用**
県民の事業への積極的な参加や、民間の人材活用が望まれます。
- 3. 健康・福祉産業の振興**
健康・福祉分野の産業振興には、大きな可能性が潜在しています。
- 4. 人材定着の仕組みづくり**
県内で育て、県内に定着する人材確保システムが必要です。

第2期実施計画(成長期) 平成20～22年度

産学官民が連携しながら、それぞれが自立的な取組を展開するパートナーシップを維持し、そこから次々にイノベーションが生み出され、医療・健康・福祉産業が活性化しています。

◆ 第2期実施計画の5つの基本方向

- 1. 産学官民連携によるネットワークの充実・拡大**
第1期実施計画で構築した産学官民連携体制をさらに充実・拡大し、鈴鹿医療科学大学薬学部や三重大学産学官連携伊賀研究拠点を核とした新たな連携に向けた取組の実施、8大学・3高専のそれぞれの強みを生かした取組、市町や地域の関係団体や県民との連携を強化していきます。
- 2. メディカル分野の人材の確保・育成**
メディカルバレーが発展し、各主体が自立して活動していくためには、高度な知識とモチベーションの高い人材が欠かせません。フォーラム、研究会、インターンシップ制度等の活用、大学における社会人教育プログラムなどを活用し、県内で育て、県内に定着する人材の確保・育成をめざします。
- 3. 統合医療・予防医学を推進するための体制づくり**
伝統薬や本草学者を輩出した歴史的・文化的背景を持っている三重県を統合医療の先進地として確立させるとともに、予防医学を視野に入れた統合医療を活用した産業支援に取り組んでいきます。特に他府県より先駆的に構築した治験医療ネットワークを活用し、エビデンス(科学的根拠)の確立した製品づくりを進めます。
- 4. 技術力向上・製品開発の支援**
メディカルバレーの主要パートナーである県内中小企業の技術力、製品開発力を高めるため、産学官連携による支援システムを充実していきます。また研究資金確保のための企業向け補助金や研究会、セミナー、サポーター等による製造・品質管理の技術支援を実施していきます。さらに、若手研究者や国等の大型プロジェクトの研究資金の獲得をめざす研究者のために委託研究を提供していきます。
- 5. 推進体制の充実**
構想を推進するために設置している推進代表者会議、企画推進会議などの組織の充実・強化を図ります。内部評価の継続とともに新たな外部評価システムの導入を検討し、事業のPDSサイクルを確立していきます。

健康長寿を支える産業の育成

第3期実施計画(熟成期) 平成23年度～

- 重点事業の推進
- 持続可能な事業推進組織の構築

新しいパートナーシップ
を基盤に!!

健康長寿みえの実現



メディカルバレー構想 基本コンセプト

年度	基本コンセプト	具体的な事項	県 市町 学 産 民
H13	【構想策定】 ・基本理念 ・基本戦略、8つの基本方向 *アクションプランの策定	・取組の洗い出し ・関係者との調整 ・代表者会議、企画推進会議の設置	産学官民の役割分担をして具体的な事業を計画
H14 H19	【第1期実施計画(立ち上げ期)】 ・基盤整備を中心とした取組 ・県主導の推進体制 →各主体が役割分担を行う →それぞれに事業を展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> ・基盤の強化 ・地域連携強化 ・人材育成 </div>	
H20 H22	【第2期実施計画(成長期)】 ・基本理念の引継ぎ ・新しい5つの基本方向 ・各主体の自主的な取組の展開 ・県はプロジェクトのまとめ役(均等なパートナーシップ) ○熟成期に向けた見直し検討	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 新たな取組 ・知的拠点支援 ・新たな分野での産業化 ・システムの充実強化 </div>	県はまとめ役 各主体が均等なパートナーシップのもと事業を展開 新しい5つの基本方向による事業展開 健康長寿を支える産業の育成
H23	【第3期実施計画(熟成期)】 ・重点事業の推進 ・継続可能なシステムの完成	・成果の検証	重点事業の推進 健康長寿みえの実現

第1期実施計画の成果

1. 産学官民連携の進展

人的ネットワークの構築
みえメディカル研究会(会員数700人超)

2. 創業・新事業創出

薬事関係への事業進出

3. 研究開発の進展

多くの共同研究、製品化、特許出願など

4. 国等の競争的研究資金の獲得

5. みえ治験医療ネットワークの構築

ネットワークに、県内医療機関113施設が参加

6. 海外との連携の構築

ドイツ・バイオコンバレー、スキャンバルトのバイオクラスターとの協定、中国との連携

7. 情報発信ツールの充実

8. 創造的人材の育成

9. 新たな知的拠点の整備

四日市看護医療大学開学、鈴鹿医療科学大学薬学部開設、三重大学産学官連携伊賀研究拠点開設

10. バイオクラスターランキング

全国32拠点中4位(2006年)

関連した取組成果

1. 熊野古道の薬草活用(尾鷲市、紀北町)

2. 尾鷲海洋深層水の活用(尾鷲市)

<http://www.city.owase.mie.jp/public/kaiyou>

3. 伊勢鳥羽志摩健康サービス推進協議会の立ち上げ(伊勢市、鳥羽市、志摩市)

<http://www.kensuikyo.com>

4. 島人がもてなすウェルネスの旅の企画(鳥羽市)

5. ハイテク温泉塾の企画(鳥羽市)

6. グルメメディカルツアーの企画(志摩市)

<http://gourmedical.net>

7. 産学官連携伊賀研究拠点(伊賀市、名張市)

メディカルバレープロジェクトの構成メンバー

メディカルバレープロジェクトは、産学官民のネットワークを核に、次代を担う医療・健康・福祉産業の振興と県民の健康・福祉の向上をめざすため実施されています。



メディカルバレー構想についてのお問い合わせ

三重県健康福祉部薬務食品室 メディカルバレー推進グループ

〒514-8570 三重県津市広明町13
TEL 059-224-2331 FAX 059-224-2344
E-mail yakumus@pref.mie.jp
HP <http://www.mvp.pref.mie.jp/>

